

二十歳になるということ

桜を見ると、お花見とともに国語の教科書を思い出します（大岡信『言葉の力』光村書店）。
よ明けの早さや日の長さを感じられる頃、季節の分かれ目を告げる『福はうち鬼は外』の声。
りっしゅんを迎え、暦のうえではもう春です。春は進学・進級の季節ですが、今年から18
さいを成人とするようになりました。20才成人に慣れていると違和感があるのですが、せ
きにんと自覚をさらに求められるようになります。そう遠くない将来、未だ混沌とする未来
に向けて心身ともに充実させられるよう、準備をしておきましょう。『言葉の力』の文中に、
「さくらの鮮やかなピンク色は、あのごつごつとした樹皮からとるんだ」とあります。びっ
くりしたのと同時に、外見だけでは判断できない人間に似た奥深さがあると感じました。
ぞくぞくと進路の知らせが舞い込んできた、皆さんの先輩たち。幼かったあの子達がまさか
！って思う日を夢見て、後輩たちの将来よ、一筋の光となって未来を照らせ…！

生徒指導専任

